

骨髄バンクドナー登録推進にかかる講演会等の開催について（開催要項）  
～つなげよう命の輪！あなたの勇気が誰かの生きる力になる！！～

1 目的

白血病等の治療が困難な血液疾患患者を救う骨髄バンクドナー登録等推進のため、「語りべ（元患者さん・提供ドナーさんなど）」による講演会を実施し、市民への正しい知識の普及とドナー登録等の啓発を図る。

あわせて、少子高齢化等の影響により、がんや白血病等の病気の治療や手術に必要な輸血用血液の確保が困難な状況にある中、あらためて献血の意義と必要性について市民への周知を図る。

2 内容

骨髄移植によって元気になられた元患者さんや提供経験のあるドナーさんによる骨髄移植及び提供に関わる体験談、公益財団法人日本骨髄バンク職員によるドナー登録や骨髄提供方法及び骨髄バンクの現状報告について講演会で生の声を聴き、骨髄移植に関する正しい知識を伝えるとともに、講演会と同じ会場で400mL献血を実施し、骨髄バンクドナー登録や献血など、善意による行動を促していくためのきっかけづくりを行なう。

3 開催日時及び場所等

開催日 平成27年3月15日（日）

場 所 米子市福祉保健総合センター「ふれあいの里」1階大会議室ほか

当日の日程

○「語りべ」による講演会（開催場所：ふれあいの里1階大会議室）

【講演時間】 13時～14時30分（開場12時30分）

【講演会の内容】

- ・元患者さんや提供経験のあるドナーさんによる骨髄移植及び提供に関わる体験談（約50分）
- ・公益財団法人日本骨髄バンク職員によるドナー登録や骨髄提供方法及び骨髄バンクの現状報告（約20分）
- ・白血病を患った子どもとその家族のドキュメンタリー映像「アンパンマンのエキス」上映（約10分）

※入場料無料。手話通訳あり。

○400mL全血献血及び骨髄バンクドナー登録会（受付場所：ふれあいの里1階ロビー）

【受付時間】 10時～12時30分、14時30分～17時

○骨髄バンクパネル展示（展示場所：ふれあいの里1階ロビー）

【展示時間】 10時～17時

4 実施主体等（順不同）

主催者 米子市

共 催 鳥取県、鳥取県骨髄バンクを支援する会、鳥取県赤十字血液センター

協 力 皆生ライフセービングクラブ、鳥取県西部広域行政管理組合、鳥取県トライアスロン協会、陸上自衛隊米子駐屯地ほか

5 問い合わせ先

米子市福祉保健部健康対策課 庶務係 担当 絹谷（電話0859-23-5451）

## 【本講演会の開催に至った経緯】

これまで、米子市職員は、献血をはじめ、善意による福祉活動を行ってきました。  
少子高齢化等の影響で、献血者数及び骨髄バンクドナー登録数は減少傾向にあります。

この状況を何とか少しでも改善していくため、毎年市役所本庁舎等の市の施設で献血推進運動に取り組んでまいりました。

鳥取県では、1日約50人分の輸血用血液が必要であり、献血者を確保するため、庁内の声かけ運動を強化してきたところ、1月9日に市役所献血（400mL全血献血）を行った際には、市民の方を含め、82名の受付（うち73人採血）がありました。

また、同時に、鳥取県赤十字血液センター及び鳥取県医療政策課と協力し、市の施設で初めてとなる骨髄バンクドナー登録会を開催したところ、市職員50人の登録者が集まりました。

今後も、市の施設においては、積極的に献血運動を推進するとともに、同時に骨髄バンクドナー登録受付も行ってまいります。

なお、これまで以上に広く、善意による活動の輪を広げていきたいとの思いから、このたび公益財団法人日本骨髄バンクの厚意により、県内初となる「語りべ」（骨髄移植によって元気になられた元患者、提供経験のあるドナー）による講演会を開催し、体験談や生の声を聴くことができることとなりました。

市民の皆様には本講演会、並びに献血及び骨髄バンクドナー登録会の趣旨にご賛同いただき、ご家族やご友人等、ぜひお誘い合わせの上、ご参加いただきたいと思いますと考えております。

また、御身体や体調により献血やドナー登録が難しい方や、年齢が対象外の方におかれましても、献血や骨髄バンクドナー登録等にかかる正確な知識の普及にご協力いただきたいと思いますと考えております。

## 【骨髄バンクの現状】

- ・平成3年12月に骨髄バンク設立
- ・ドナー登録者数（平成26年12月末現在） 449, 531人
- ・患者登録者数（平成26年12月末現在） 2, 593人
- ・骨髄移植例数累計（平成26年12月末現在） 17, 741人
- ・日本では、毎年新たに約1万人の方が、白血病などの血液疾患を発症しています。  
そのうち、骨髄バンクを介する移植を必要とする患者さんは、毎年2,000人以上です。  
骨髄バンクに登録している患者（国内）のうち、実際に移植を受けることができる方は約6割です。

※ドナー（提供希望者）には、入院費用等の医療費、交通費の負担はかかりません。

※休業補償はありません。